

キャビテーション研究分科会

【目的】

「キャビテーション研究分科会」は、1986年に前身の分科会「ポンプのキャビテーション損傷研究分科会」として設置されました。本分科会は、前身の名称から分かる通り、設立当初からキャビテーション損傷に関する研究活動を分科会一丸となって実施し、第5期終了時には、それまでに蓄積された研究成果を元にターボ機械協会指針「TSJ G001:2003 ポンプのキャビテーション損傷の予測と評価」を発行しました。さらに第6期以降、膨大な損傷試験データを元に材料の見地から損傷予測精度の向上に取組み、最新のキャビテーション CFD (Computational Fluid Dynamics) による性能・損傷予測の状況や、本指針の国際的な位置づけを加えて、第8期にはターボ機械協会指針の改定版「TSJ G001:2011」を発行しております。本協会指針は、現在、ポンプ業界における更なる損傷予測と評価に関する我国唯一の指針として供されています。現在は、キャビテーション予測精度のより一層の向上ならびに指針の海外展開が我が国のポンプ業界にとって重要命題であると位置づけ、本分科会を継続するに至っております。

【メンバー構成】

研究機関の研究者委員 + 企業委員

参加企業：(株)IHI, アイム電機工業(株), (株)荏原製作所, (株)クボタ製作所, 新日本造機(株), (株)鶴見製作所, (株)電業社機械製作所, (株)西島, 日機装(株), 日本フローサーブ(株), (株)日立製作所, 三菱重工業(株)

【主な活動内容】

- ・分科会会合：年3回
- ・ターボ機械協会講演会でのオーガナイズドセッション「キャビテーション」の企画
- ・産官学共同研究の実施
- ・技術相談

【分科会への入会について】

研究者委員：研究機関にご所属の方でターボ機械協会の個人会員

企業委員：関連企業にご所属の個人会員または所属企業が特別会員

であることを入会の条件としています。

入会を希望される方は、ターボ機械協会事務局にお問い合わせください。